

財務診断研究会

パン製造業の財務分析

平成31年4月17日

中小企業診断士 嶋田弘僧

目次

1. 基本情報

- 1-1 日本標準産業分類
- 1-2 パン製造業とは
- 1-3 業界動向
- 1-4 主な製パン会社
- 1-5 人気商品

2. 事例企業

- 2-1 山崎製パン株式会社
- 2-2 第一屋製パン株式会社
- 2-3 日糧製パン株式会社

3. 個人ワーク

1. 基本情報

1-1 日本標準産業分類

大分類 E 製造業

中分類 9 食料品製造業

小分類 97 パン・菓子製造業

971 パン製造業

972 生菓子製造業

973 ビスケット類・干菓子製造業

974 米菓製造業

979 その他のパン・菓子製造業

1-2 パン製造業とは

(1) パン製造業とは

主として食パン、菓子パンなどのパン類を製造する事業所をいう。

主として乾パンを製造する事業所は細分類0973に分類される。（weblio辞書）

(2) パンの区分内容

①食パン

パン類品質表示基準に定める食パンに準ずるパン

例 角型食パン、山型食パン、レーズン食パン、サンドイッチ用食パンなど

②菓子パン

パン類品質表示基準に定める菓子パンに準ずるパン

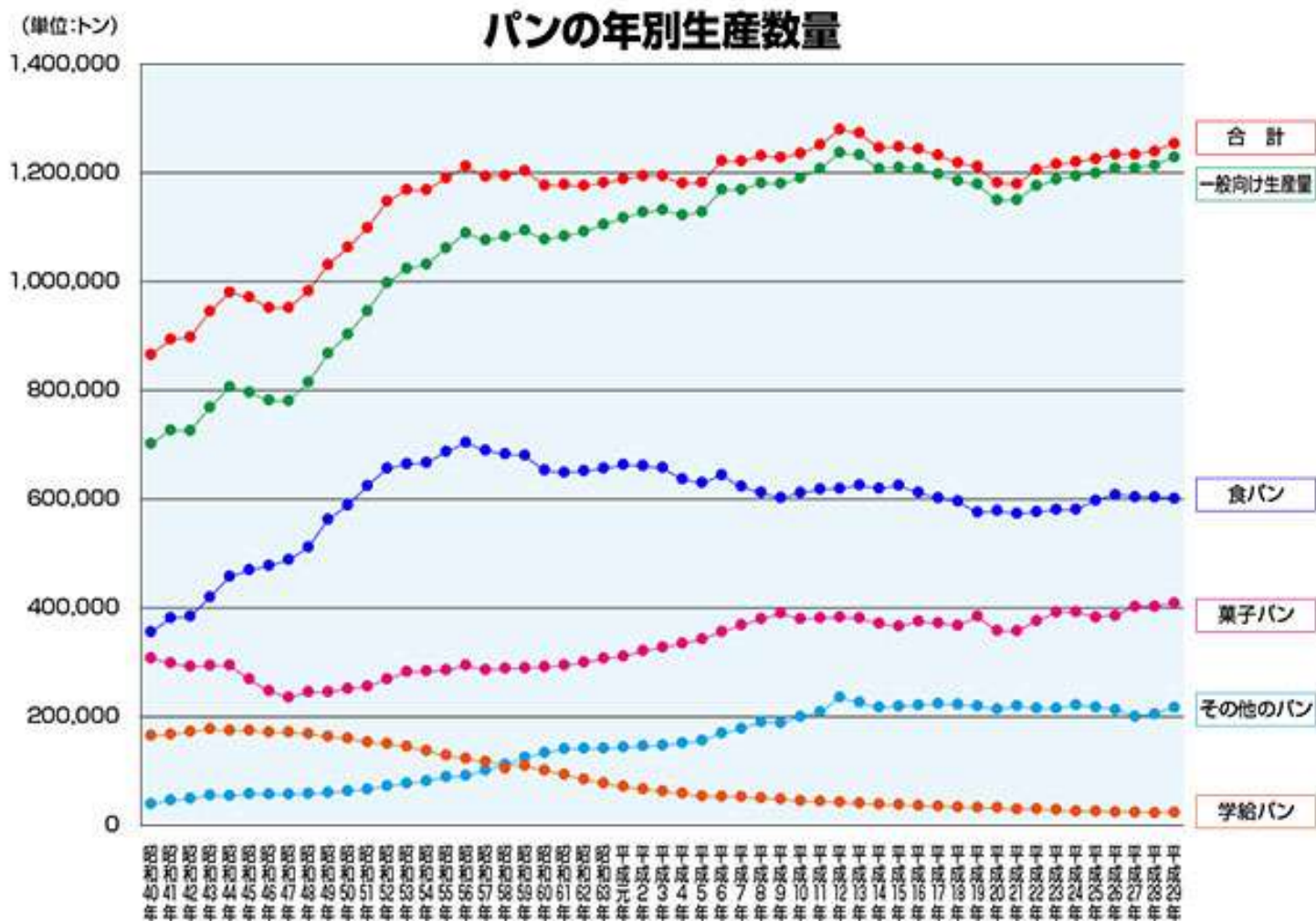
例 あんパン、ジャムパン、チョコレートロール、メロンパン、クロワッサン、コッペパン（クリーム、ジャム等を挟んだもの）、デニッシュ類、パイ類など

③その他パン

パン類品質表示基準に定めるその他のパンに準ずるパン並びにいわゆる惣菜パン、調理パン等

例 フランスパン、欧風硬焼きパン、ロールパン、ベーグル、ライ麦パン、ハンバーガー用バンズ、コッペパン、カレーパン、ソーセージロール、サンドイッチ、ハンバーガーなど（パン食普及協議会）

1-3 業界動向



(資料:農林水産省「生産動態調査、食品産業動態調査」)

1-4 主な製パン会社

会社名	売上高	従業員数	設立	本社所在地
山崎製パン株式会社	1兆594億4200万	28,363人	1948年	千代田区
フジパン株式会社	2,756億円	16,600人	1951年	名古屋市
敷島製パン株式会社	1,565億1300万円	4,104人	1920年	名古屋市
株式会社サンデリカ	1,343億円	7,995人	1980年	千代田区
株式会社神戸屋	548億6,034万円	1,309人	1918年	大阪市
株式会社ドンク	301億円	973人	1956年	神戸市
第一屋製パン株式会社	251億4500万円	893人	1947年	小平市
日糧製パン株式会社	174億375万円	752人	1946年	札幌市
伊藤製パン株式会社	137億円	1,450人	1920年	さいたま市
株式会社木村屋総本店	100億円	850人	1869年	江東区

1-5 人気商品

順位	商品名	金額シェア	平均売価(円)
1	パスコ 超熟 食パン 6枚	1.52%	156
2	ヤマザキ ロイヤルブレッド 6枚	1.33%	141
3	カルビー フルグラ 800g	1.04%	676
4	ヤマザキ 超芳醇 6枚	1.04%	129
5	フジパン 本仕込食パン 6枚	1.00%	140
6	フジ ネオレーズンバターロール 6個	0.93%	151
7	パスコ 超熟 食パン 5枚	0.91%	156
8	山崎製パン ダブルソフト	0.86%	161
9	ヤマザキ 薄皮つぶあんぱん 5個	0.86%	122
10	フジ ネオバターロール	0.81%	152
11	ヤマザキ レーズンゴールド 3枚	0.80%	134
12	ヤマザキ ロイヤルブレッド 5枚	0.75%	142
13	ヤマザキ 薄皮クリームパン 5個	0.72%	124
14	山崎製パン まるごとソーセージ	0.71%	99
15	フジ 本仕込食パン 5枚切	0.70%	143
16	ヤマザキ ランチパック(たまご) 1個	0.68%	118
17	コッペパン(ジャム & マーガリン)	0.66%	90
18	ヤマザキ ランチパック(ピーナッツ) 1個	0.63%	111
19	ヤマザキ ナイススティック	0.62%	98
20	ヤマザキ 薄皮チョコパン 5個	0.54%	123

パン・シリアル類 2017年8月1日～2017年8月31日 ランキング(流通ニュース 2017.9.20)

2. 事例企業

	山崎製パン株式会社	第一屋製パン株式会社	日糧製パン株式会社
本社所在地	東京都千代田区	東京都小平市	札幌市豊平区
創業/設立	1948年3月	1947年6月	1946年5月
資本金	110億1400万円	33億500万円	10億5197万円
売上	1兆594億4200万	251億4500万	174億375万円
経常利益	266億2900万円	▲4億3800万円	2億1555万円
従業員数	21,343名	893名	752名
事業内容	<p>(1) 食品事業 パン、和・洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓等の製造販売</p> <p>(2) 流通事業 コンビニエンスストア事業、食品スーパーマーケットの経営</p> <p>(3) その他の事業 物流事業、食品製造設備の設計、監理および工事の請負、事務受託事業、損害保険代理業、食品製造機械器具の洗浄剤の製造販売等</p>	<p>(1) パン部門 豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、当社、(株)ベーカリープチが製造し販売を行う。</p> <p>(2) 和洋菓子部門 豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、当社が製造し販売を行う。</p> <p>(3) その他 豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、スリースター製菓(株)にて、クッキー等を製造し販売を行う。(株)ファースト・ロジスティックスにて、当グループの製品等の配送を行う。</p>	<p>主たる事業として、パン・菓子・米飯等の製造ならびにその他の食料品の販売に関する事業を行う。</p> <p>2009年に山崎製パン株式会社と業務資本提携契約を締結した結果、同社は当社の主要株主である筆頭株主およびその他の関係会社となり、当社は同社の持分法適用関連会社となった。</p>
理念/社是	ヤマザキの精神:「良品廉価・顧客本位の精神で品質と製品、サービスをもって世に問う」	<p><企業理念> 第一屋製パングループは、「おいしさに まごころこめて」をグループ全社のモットーとし、安全で高品質な商品作りに努め、食を通じて社会の発展に貢献します。</p>	<p><経営理念> ミッション:いつも安心できるおいしさと信頼感で人と環境にやさしい企業 ビジョン:北海道の活性化に貢献する“真の北海道企業”への成長 ドメイン:良質なパン・菓子を中心とした食関連事業</p>

2-1 山崎製パン株式会社

(1) 事業概要

①食品事業

パン、和・洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓等の製造販売

②流通事業

コンビニエンスストア事業、食品スーパーマーケットの経営

③その他の事業

物流事業、食品製造設備の設計、監理および工事の請負、事務受託事業、損害保険代理業、食品製造機械器具の洗浄剤の製造販売等

2-1 山崎製パン株式会社

(2) 沿革

- 昭和23年3月 創業者飯島藤十郎により千葉縣市川市に山崎製パン所を開業、パンの委託加工を開始
- 昭和23年6月 山崎製パン株式会社を資本金百万円をもって千葉縣市川市に設立
- 昭和26年3月 両国工場稼働、東京都に進出(昭和38年閉鎖)
- 昭和37年4月 本社を千葉縣市川市より東京都墨田区へ移転
- 昭和37年7月 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 昭和41年7月 大阪第一工場竣工稼働(当時(株)山崎製パン大阪工場)関西に進出
- 昭和41年11月 東京証券取引所市場第一部に株式上場
- 昭和42年7月 (株)スーパーヤマザキ設立
- 昭和45年10月 米国ナビスコ社及び日綿実業(株)(現双日(株))と合併会社ヤマザキ・ナビスコ(株)設立
- 昭和48年11月 本社を東京都墨田区から千代田区岩本町3-2-4へ移転
- 昭和51年12月 (株)サンエブリー設立(コンビニエンスストア事業進出)
- 昭和55年5月 (株)サンデリカ設立
- 昭和56年5月 香港に香港山崎麵包有限公司設立
- 昭和58年6月 仏国にYAMAZAKI FRANCE S.A.設立
- 昭和58年7月 米国ナビスコ社より、ヤマザキ・ナビスコ(株)の株式を取得し、当社の持株比率が40%から80%に増加
- 平成18年7月 (株)東ハトの株式を取得
- 平成19年4月 (株)不二家と業務資本提携し、株式を取得(持株比率35%)
- 平成20年11月 (株)不二家と新たな業務資本提携契約を締結し、株式を追加取得(持株比率51%)
- 平成21年8月 日糧製パン(株)と業務資本提携し、株式を取得(持株比率28.4%)
- 平成28年9月 ヤマザキ・ナビスコ(株)がヤマザキビスケット(株)に商号変更
- 平成30年2月 神戸工場竣工稼働

2-1 山崎製パン株式会社

(3) 商品紹介

①高品質で均質な食パン類



②バラエティー豊かな菓子パン類



③素材と技術を活かした和菓子類



2-1 山崎製パン株式会社

④手軽なおいしさのスィスロール、スナックケーキ、ヘビーケーキ類



⑤製パンメーカーの強みを活かした調理パン類



⑥バラエティー豊かなヤマザキビスケット製品



ペコちゃんでお馴染みの不二家製品
ユニークなパッケージが並ぶ東ハト製品

2-2 第一屋製パン株式会社

(1) 事業概要

①パン部門

豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、当社、(株)ベーカー・プッチが製造し販売を行う。

②和洋菓子部門

豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、当社が製造し販売を行う。

③その他

豊田通商(株)より一部原材料等を購入し、スリースター製菓(株)にて、クッキー等を製造し販売を行う。(株)ファースト・ロジスティックスにて、当グループの製品等の配送を行う。

2-2 第一屋製パン株式会社

(2) 沿革

昭和22年6月 細貝義雄名誉会長が個人経営で大田区仲六郷にて「第一屋」の商号をもって製パン業を創設

昭和30年7月 第一屋製パン株式会社(資本金400万円)を設立 合資会社第一屋の営業を継承

昭和37年9月 当社株式を東京証券取引所市場第二部に上場

昭和45年11月 東京および大阪証券取引所市場第一部に上場

昭和49年4月 東京都小平市に小平工場を完成し操業を開始

昭和49年8月 クッキー、菓子類及びその他食品の製造及び販売をする子会社スリースター製菓株式会社を設立、高崎工場操業開始

平成8年4月 第一パンの物流部門を独立させ、子会社株式会社ファースト・ロジスティックスを設立、第一パン各工場に営業を展開

平成21年6月 本社を小平市に移転

平成21年12月 豊田通商株式会社と資本業務提携契約を締結

2-2 第一屋製パン株式会社

(3) 商品紹介

①食パン・ロールパン



emini、みみふわ、New ホテルの朝、モーニングセレクション、蒼（あお）、発芽米

②惣菜パン



ひとくちつつみシリーズ、たっぷりシリーズ、あらびきシリーズ

2-2 第一屋製パン株式会社

③菓子パン



アップルリングシリーズ、手包みシリーズ、大きなデニッシュ、横浜あんぱん物語

④和菓子・洋菓子



ポンデスティック、オールドファッションドーナツ、スリースター製菓の洋菓子

2-3 日糧製パン株式会社

(1) 事業概要

主たる事業として、パン・菓子・米飯等の製造ならびにその他の食料品の販売に関する事業を行う。

2009年に山崎製パン株式会社と業務資本提携契約を締結した結果、同社は当社の主要株主である筆頭株主およびその他の関係会社となり、当社は同社の持分法適用関連会社となった。

2-3 日糧製パン株式会社

(2) 沿革

昭和18年10月 北海道報国製菓有限会社として設立

昭和21年5月 日本糧産化学工業有限会社に改称

昭和34年3月 日糧製パン株式会社と改称

昭和41年12月 丸十製パン株式会社(東京都町田市)を買収、町田工場を設置、関東市場へ進出

昭和52年10月 札幌証券取引所に株式を上場

平成11年6月 本州(東北地方の一部を除く)におけるパン・菓子事業から撤退

平成21年8月 山崎製パン株式会社と業務資本提携契約を締結

平成22年2月 株式会社ノースデリカを吸収合併(平成28年2月同名の会社を設立)

平成30年7月 月寒デリカ工場竣工稼働

2-3 日糧製パン株式会社

(3) 商品紹介 [人気シリーズ]

①絹艶



③ラブラブサンド



②みんなの食パン ann



3. 個人ワーク

□ 1社を選び、財務諸表から強みや経営課題を分析しましょう。

	着目した経営指標	強みや課題等
1		
2		
3		
その他気付いたこと等		